

# テガタチドリ

*Gymnadenia conopsea* (L.) R.Br.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数ともに少ない。

## 分 布

国内では北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市に分布。

## 種の特徴

亜高山帯～高山帯の草原に生える。一部の根は掌状に肥厚し、花茎は高さ約30～50cmになる。葉はやや肉厚の広線形、二つ折状で長さ10～20cm、4～6枚が茎の下半部に互生、茎の上部では線状披斜形の鱗片葉になる。茎頂に密に数個から10数個の花を総状につける。花は淡紅紫色。

## 生育を脅かす要因

登山道工事や雪崩などによる、園芸採取など。

参考文献 清水建美ほか（2014）、福井県植物研究会（1997）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ミズトンボ

*Habenaria sagittifera* Rchb.f.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内嶺北の湿原に生育しており、環境の悪化により、個体数が減少傾向である。

## 分 布

北海道から九州に分布。県内では嶺北の一部の湿地に分布している。

## 種の特徴

日当たりのよい湿地に生える多年草。茎は三角柱状で直立し、高さ40～80cm。葉は茎の下部より発生し、線形で基部は茎を抱く。長さは5～20cm。上部には線形の鱗片葉がある。花は茎頂に多数穂状に付ける。大きさ10～15mm。花色は白色。花期は7～9月。

## 生育を脅かす要因

生育地の湿地やその周囲の開発、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1997）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○			○		○			○	○		○	○	○

# ホクリクムヨウラン

*Lecanorchis japonica* Blume var. *hokurikuensis* (Masam.) T.Hashim.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地が一部の地域に限られている。今回の調査でも、各地で生育が確認できたが、年により個体数の差が大きい。獣害などの里地・里山の生育環境の変化で株が被害を受けて、減少する可能性がある。

## 分 布

北陸地方、東北方南部に分布する。県内では常緑広葉樹林の林床にみられ、嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

## 種の特徴

花茎は暗褐色で細く、長さ20～40cm。茎頂には暗紫褐色を帯びた小さな花を数個つける。少し垂れて、あまり開かない。花期は6～7月。

## 生育を脅かす要因

里地・里山の林床にみられ、森林開発やイノシシの獣害により、生育地の環境悪化で個体数が減少している。

参考文献 福井県植物研究会（1997）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○	○	○				○	○				○